

令和2年度決算のポイント



令和 2 年度決算の状況	1
令和 2 年度決算の特徴	2
主な財政指標の推移	6

令和2年度決算の状況

概況

【会計別歳入歳出決算額及び実質収支】

(単位:百万円)

会 計		歳入決算額	歳出決算額	形式収支	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
一般会計		576,772	570,189	6,583	859	5,724
特別会計(14会計)		315,728	313,797	1,931	60	1,871
会 計		収入額	支出額	形式収支	当年度純損益(税抜)	累積欠損金(税抜)
企業会計 (3会計)	収益的収支	55,312	52,835	2,477	1,841	
	病院	23,367	22,210	1,157	1,156	△ 7,434
	資本的収支	19,005	31,756	△ 12,751		
全会計合計		966,816	968,576			

※各会計毎に表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

※企業会計の資本的収支の不足額は、内部留保資金等に対応した。

令和2年度決算の特徴①

決算規模

○一般会計の決算規模は、

歳入 5,768億円（対前年度比 1,187億円増 25.9%増）

歳出 5,702億円（対前年度比 1,191億円増 26.4%増）

⇒ ・新型コロナウイルス感染症対策により前年度比大幅増

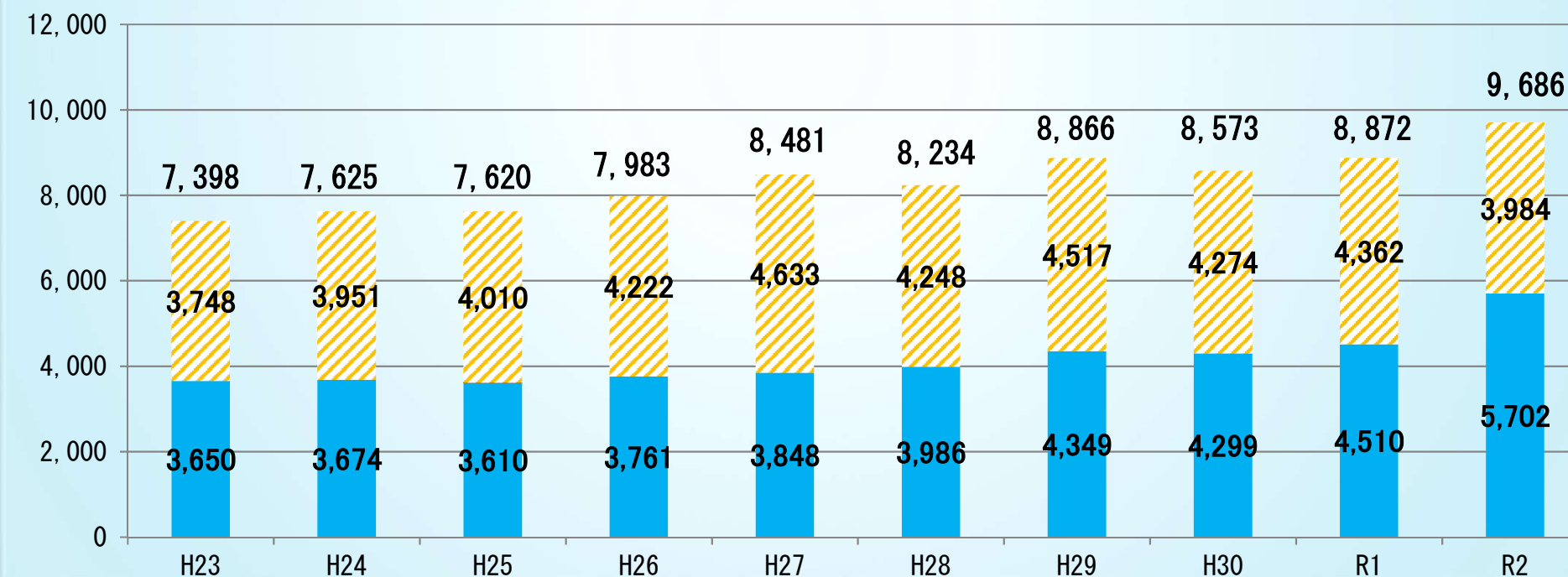
（新型コロナウイルス感染症対策経費 1,143億円）

・歳入・歳出ともに過去最大規模

単位：億円

歳出決算規模の推移（H23～R2）

▨ 特別会計
■ 一般会計



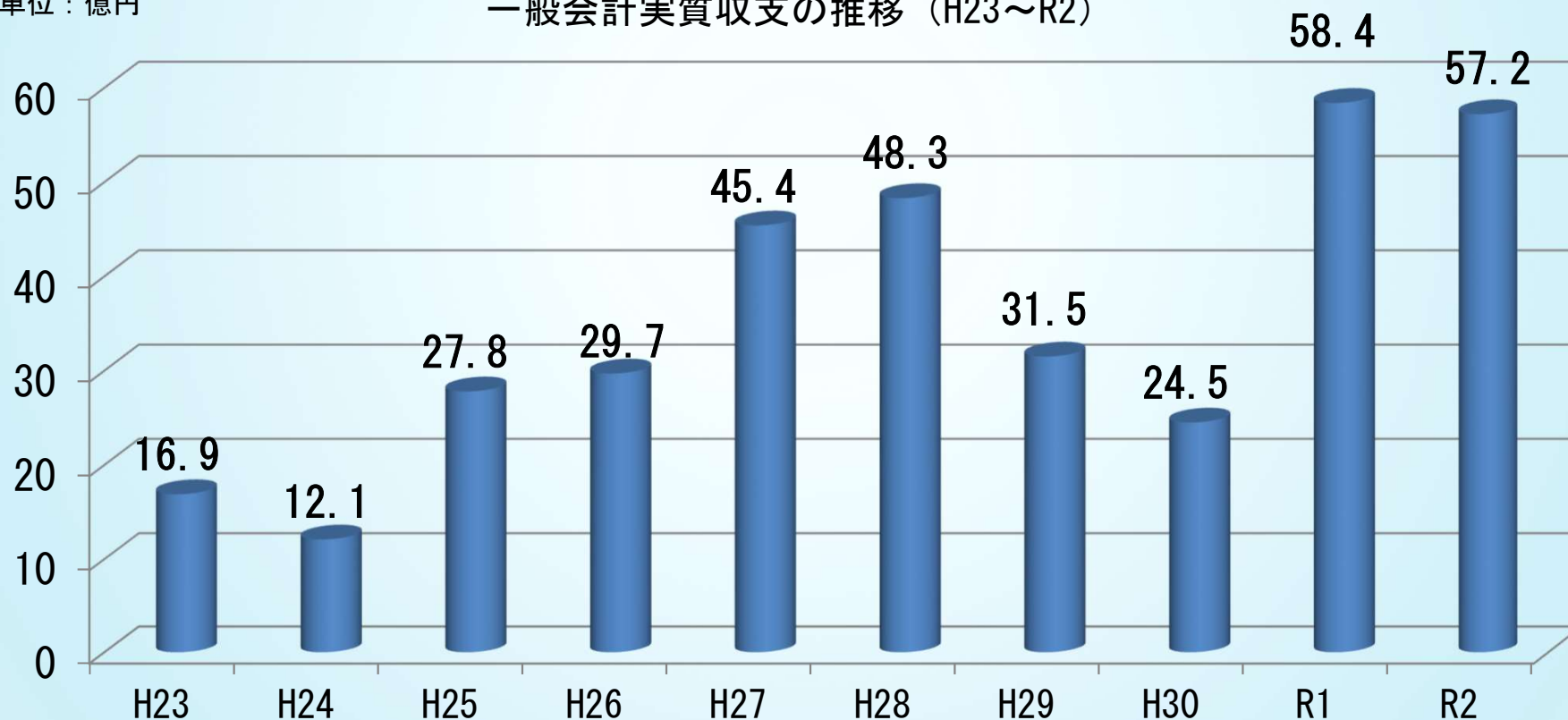
令和2年度決算の特徴②

実質収支の確保

○一般会計では、市税が予算に比べ増収となったことなどにより、57億円の実質収支（黒字）を確保

単位：億円

一般会計実質収支の推移（H23～R2）



令和2年度決算の特徴③

主要債務総額

○現段階で、令和3年度までの削減目標を超える結果

第3期財政健全化プラン目標(令和3年度) 4,800億円程度まで削減

令和2年度取組結果 4,682億円まで削減

【主要債務総額とは】

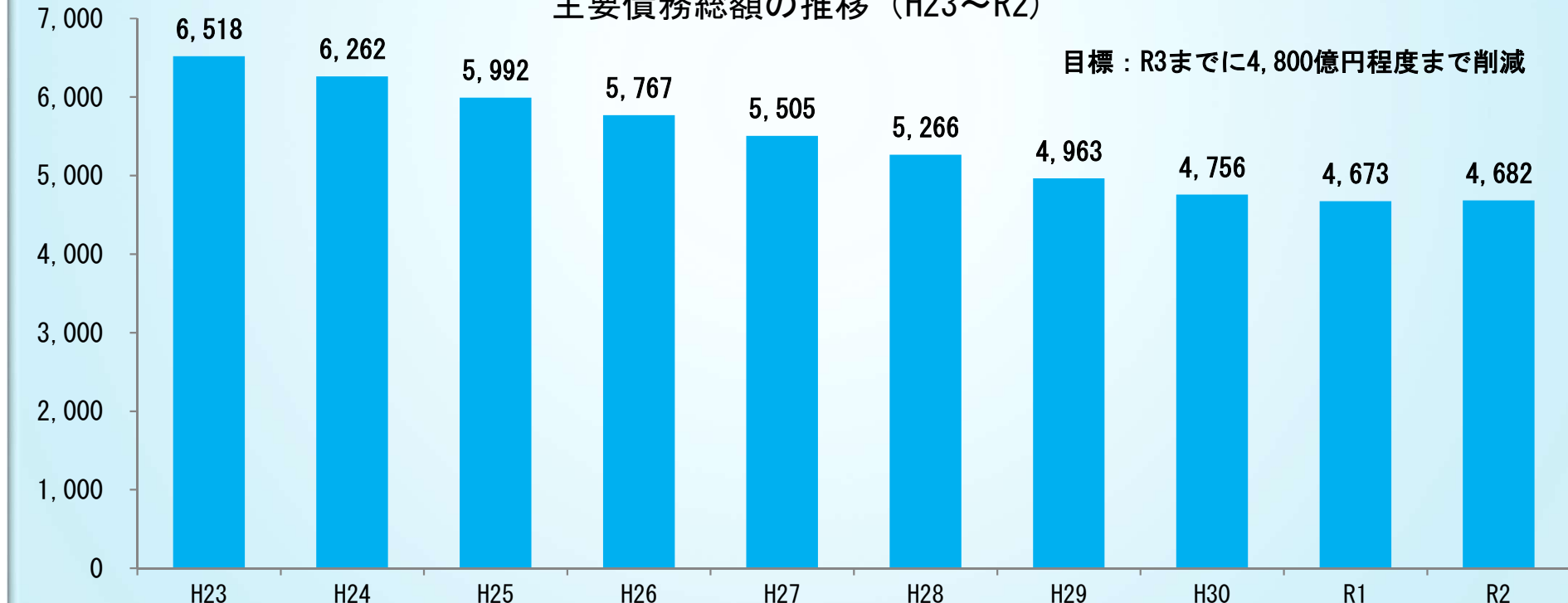
市の財政に大きな影響を与える4つの債務

- ・建設事業債等残高(普通会計)
- ・債務負担行為支出予定額(普通会計・建設事業分)
- ・基金借入金残高
- ・国民健康保険事業累積赤字額

単位:億円

主要債務総額の推移(H23~R2)

目標: R3までに4,800億円程度まで削減



令和２年度決算の特徴④

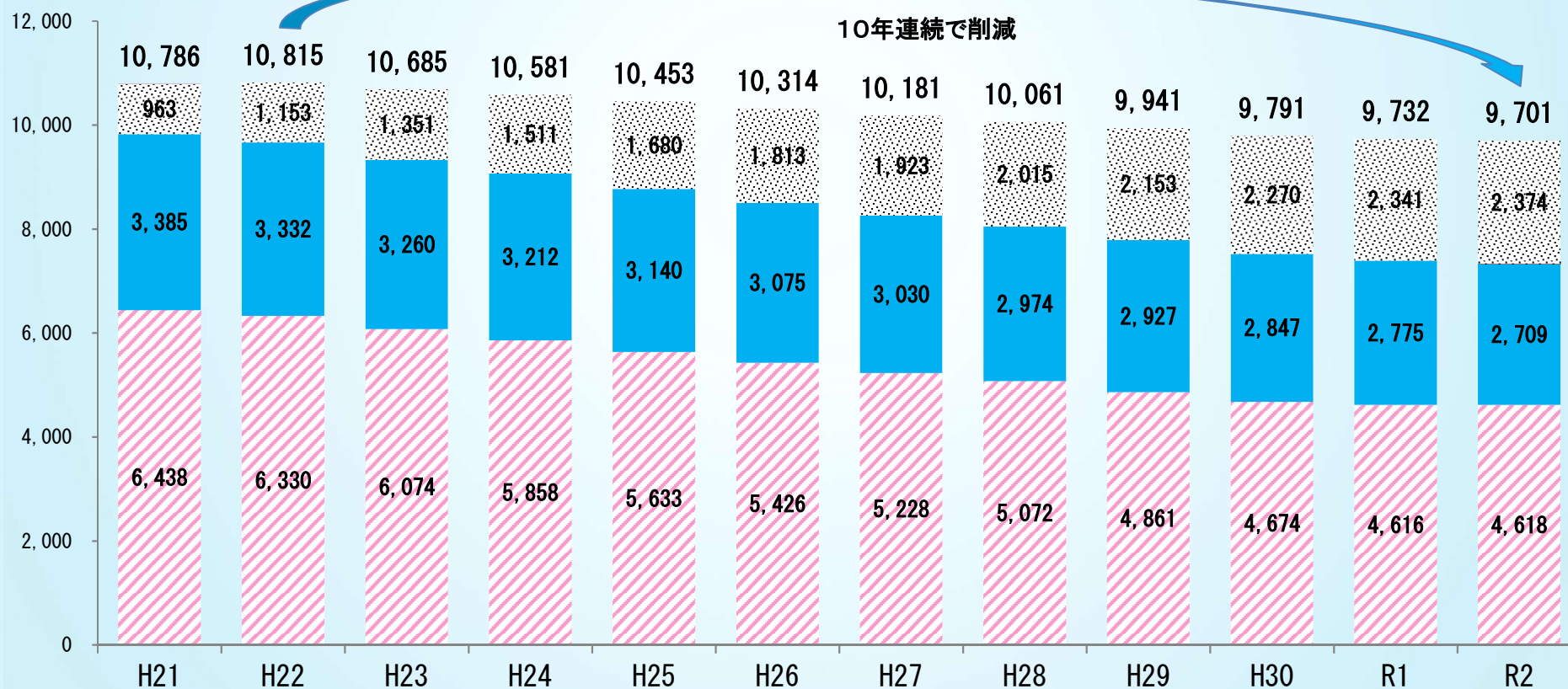
市債残高

○対前年度比３１億円の減で、１０年連続で削減

市債残高の推移（H21～R2）

■ 普通会計分（臨時財政対策債除く） ■ 公営企業分 ■ 臨時財政対策債

単位：億円

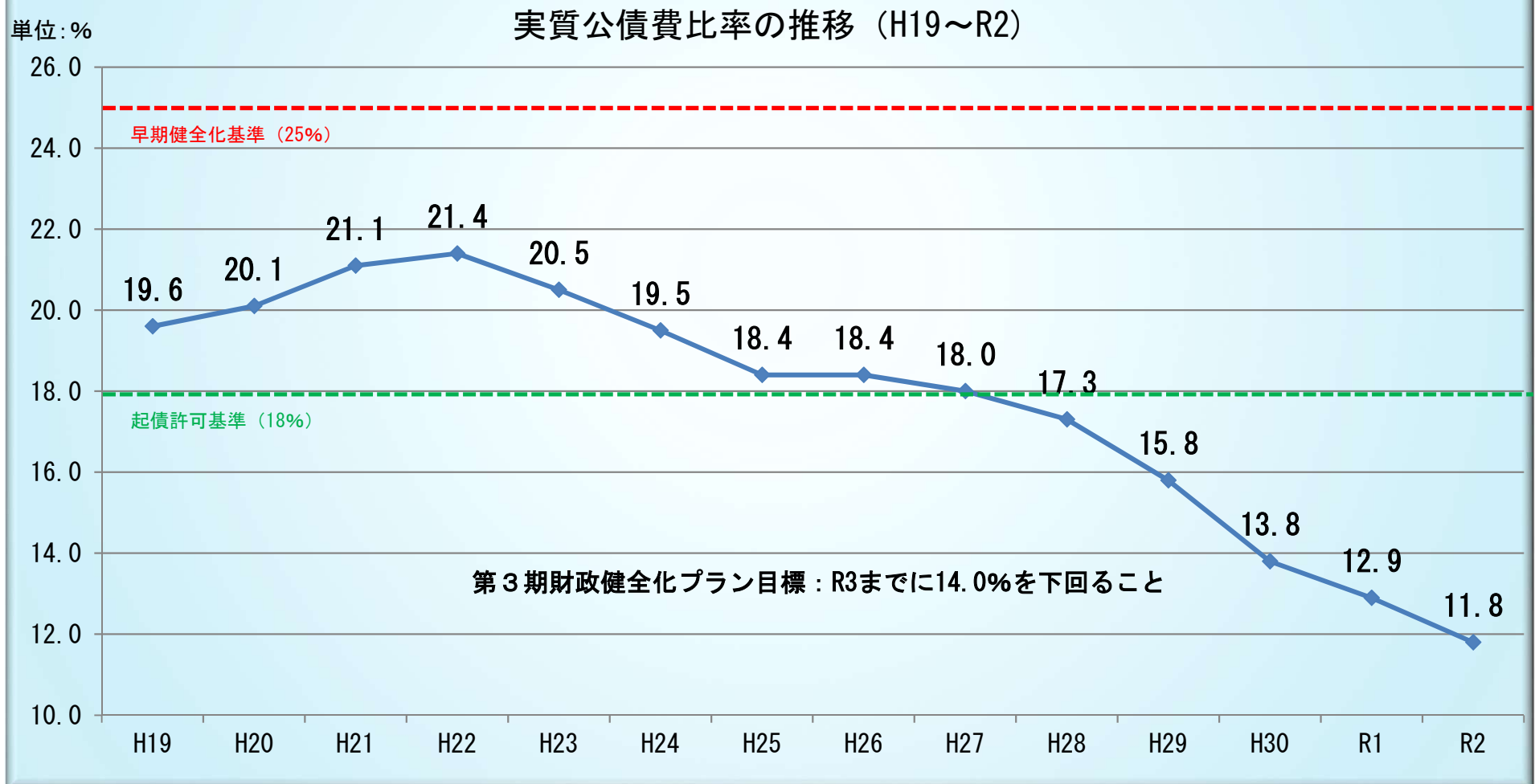


主な財政指標の推移①

実質公債費比率

(公債費等(地方債の元利償還金等)の標準財政規模に対する割合)

○実質公債費比率は、引き続き改善(11.8%、対前年度比△1.1P)

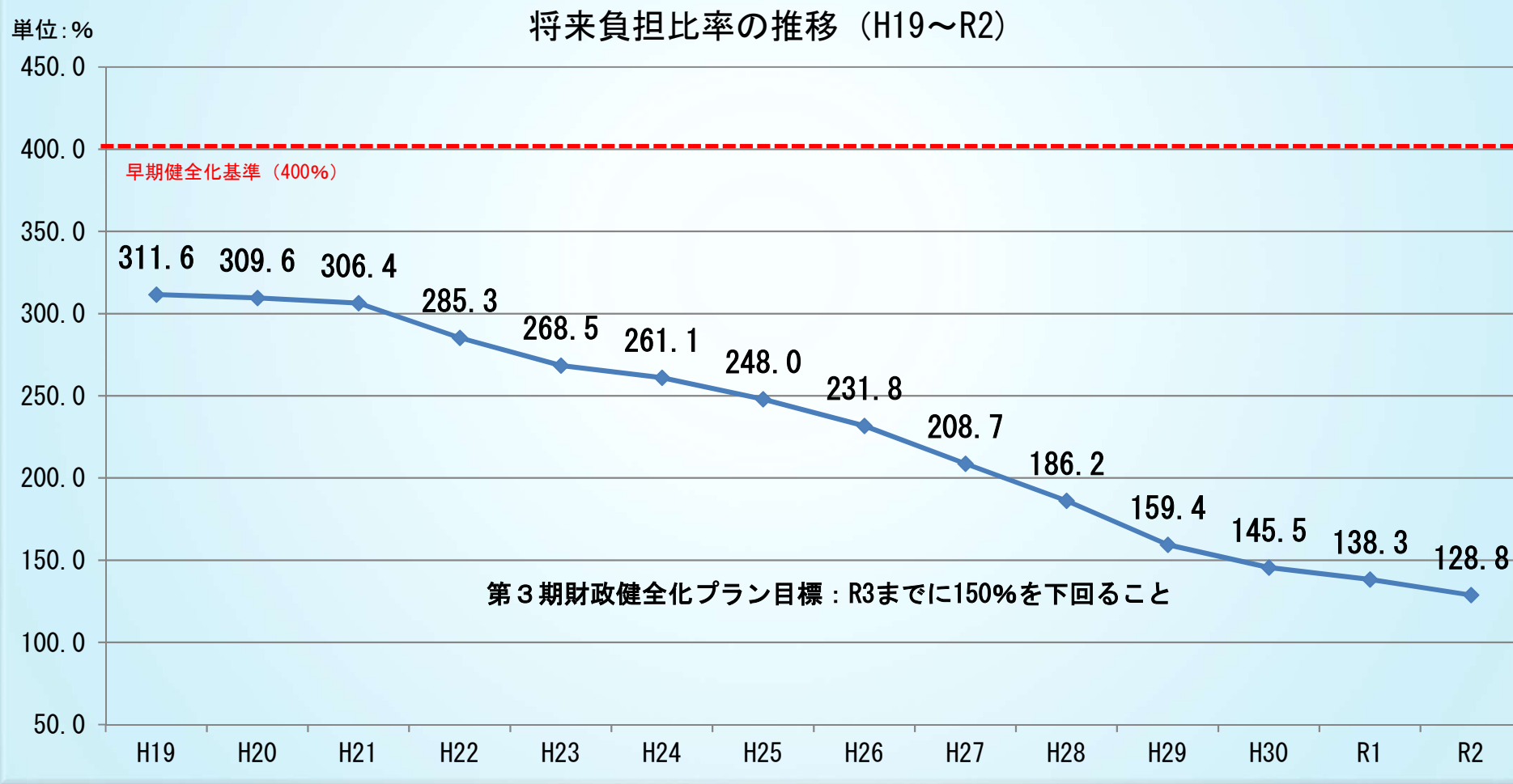


主な財政指標の推移②

将来負担比率

（将来負担債務の標準財政規模に対する割合）

○将来負担比率は、引き続き改善（128.8%、対前年度比△9.5P）



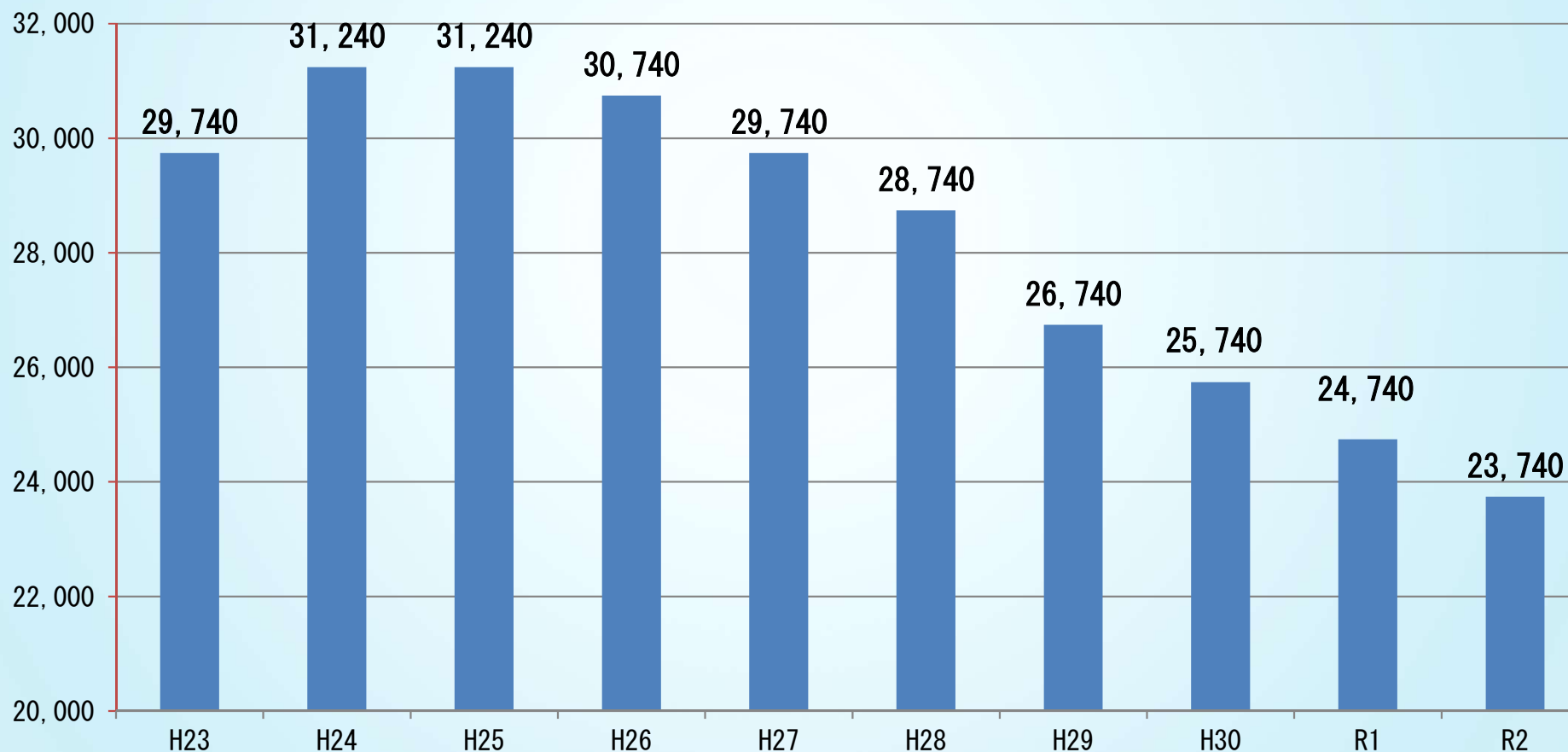
主な財政指標の推移③

基金借入残高

○主要債務総額のうち、一般会計の収支均衡を図るために実施している基金借入の残高は、着実に削減（対前年比△10億円）

基金借入残高の推移（H23～R2）

単位：百万円



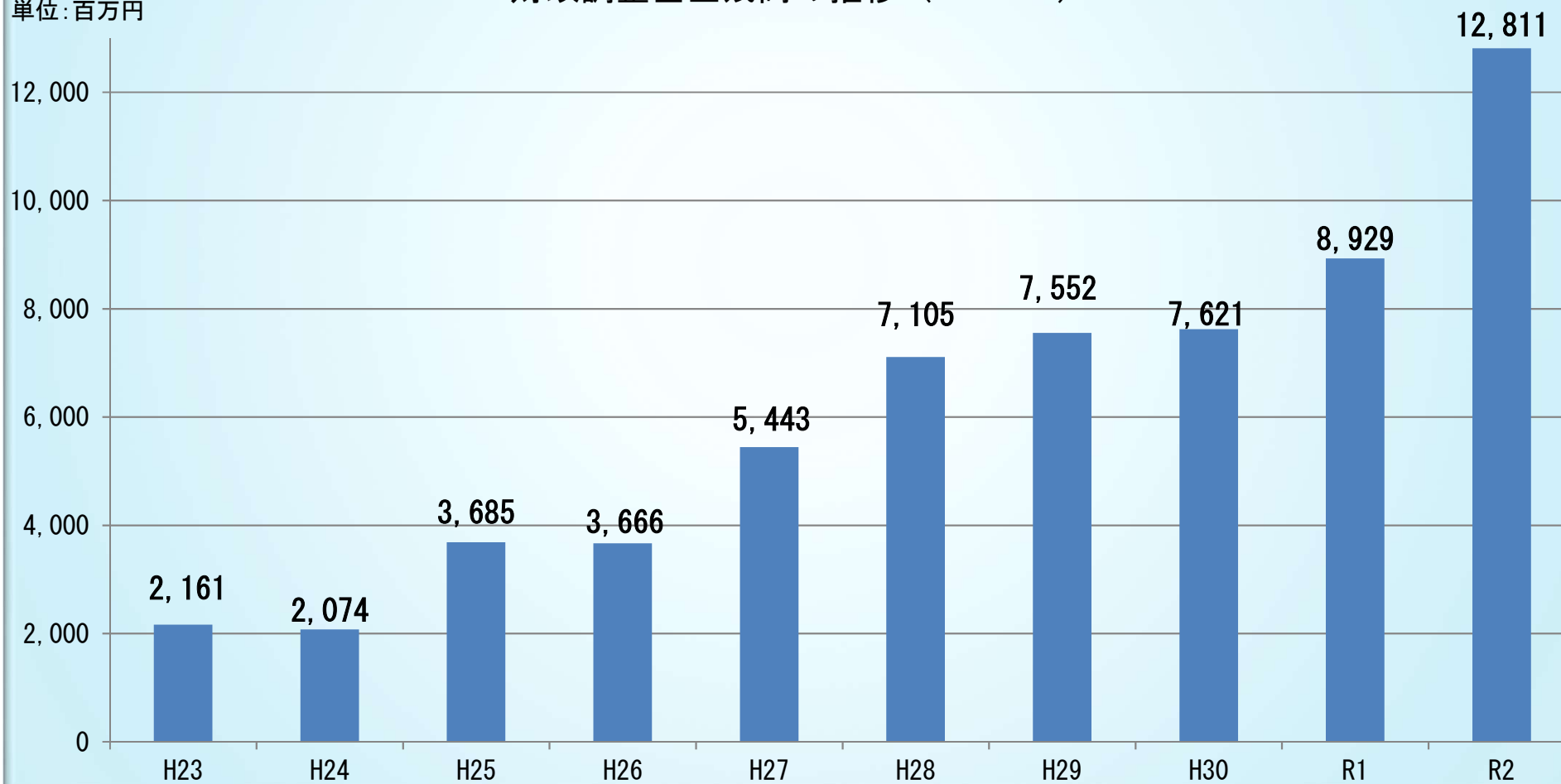
主な財政指標の推移④

財政調整基金

○年度間の財源調整を行うための財政調整基金残高は、着実に回復

財政調整基金残高の推移（H23～R2）

単位：百万円



主な財政指標の推移⑤

資金不足比率

（公営企業ごとの資金の不足額の事業規模に対する割合）

○対象となる6会計でいずれも資金不足比率の発生はなし

（単位：％）

区分	法適用			法非適用		
	病院事業	下水道事業	水道事業	農業集落排水事業	地方卸売市場事業	動物公園事業
令和2年度	-	-	-	-	-	-
令和元年度	-	-	-	-	-	-
経営健全化基準	20.0					